P 年間授業計画

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学 I

教 科: 数学 科 目: 数学 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1 学年 1 組~ 8 組

教科担当者:

使用教科書: (数学 I 数研出版

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に 解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に 考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し 【学びに向かう力、人間性等】 ようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や 創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事多学的に表現・処理したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	質や計量について論理的に考察し表現する カ、関数関係に着目し、事象を的確に表現し	数学のよさを認識し数学を活用しようとする 態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判 助しようとする態度、問題解決の過程を振り 返って考察を深めたり、評価・改善したりし ようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念やと 原理・法則を体系的に理解となり をもに表現・処理したりする技能を をもに表現・処理したりする技能を をもに表現・処理したりする技能を がに表する。 【思考立、判断力、表現力等】 数である。 【学のよかする。 【学のようなを変形したりする。 【学のよう、判断したりがでのよう。 【学のようをででになり、人間学を考ら返したりが、計断したを 論拠に基層解決、の過評価といて過解といる態度、判固をを改善とするの。 とする態度、料制をして、 に関解決で過ごに関係といる。 をを表示したり、というに関係といるといる。 をを表示したり、というに関係といるという。 を表示とし、というにない。 を表示とし、というにない。 を表示とし、というにない。 を表示とし、というにない。 を表示とし、というにない。 を表示とし、というにない。 を表示とし、というにない。 を表示というにない。 を表示というにない。 を表示というにない。 を表示といる。 を表示というとし、 を表示と、 を表示と を表示と、 を表示と、 を表示と を表示と、 を表示と を表示と を表示と を表示と を表示と を表示と を表示と を表示と を表示と を表示と を表示と を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	と。不要式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 「思考力、判断力、表現力等」間題を解決する際に、既に、式を多面的に捉えたりすめになってで等式の変形したりすること。不解くますること。本解く象や社会の事象などを数学的に捉	【知識・技能】 数を実数まで批張する意義を理解し、簡単な 数を実数まで批張する意義を理解し、簡単な の乗 まないできる。二次の乗法とができる。一次の乗法とができる。不明なの一次不等式の解や不を求めることができる。 【思考・料・表現】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連を解決する際に、既に学習した計算の方はに応じて変形したりのもるとと、大のの目をもなどを実立の性質をしたができる。 【主体的に学習に取り根するのとの表表を考察するにと、一次不等社会の解解 などを書かるにといる。本書を対して変形となり、一次不等大会の解解 といることができる。 【主体的に学習に取り根する主とがといる。といるというというというというというというというというというというというというというと	0	0	0	16
1 学期	B 2 次関数 【知識及び技能】 2 次関・数についての基本的な概念とという。 や原理・法事を数字化したり、能をを数字化したり、能を数字を数字化したり、主のにする。 とも表現ようにである。表現など、のに付き、当時では、判断して、表現よりには、判断して、表現をである。 【思関類して、同様を考え、のでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	グラフとの関係について理解すること。また、2次の関係について理解すること。また、2次の関係にないで、フランの関係になった。 【思考力、判断力ラフとの関係に思考力、判断力ラフとがでなどのよどのよどのよどのよどのよどのよどのよどのまで、であるの関係に報機器を用いて考察すして多量の関係に表察すること。この関係に報せて多量の関係を対して多量の関係を対して多量の関係を対して多量の関係を対して多量の関係に対して多量の関係に対して多量の関係に対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対	【知識・技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することが同数ののを含る。2次関数の最大程式の解と2次関数のグラフとの関係に等さる。2次不等表し、2次不等表し、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について実施と2次関数のグラフとの関係について多いの解を2次である。【思考数のグラフとの関係について多いの解をでついた。表現】 2次関本のとが現立とができる。【思考関からなりでは、2次関本のとが現立とが現立とが現立とが現立とがである。との関係についグラでものとないでなどの情報機会すること中常関係についがある。この事象などの情能と表したのである。この事象などの情報機会すること中である。この事象などの情報を表したの事象を対したの事象を対したの事象を対したの事象を対したの事象を対したの事象を対したの事象を対したの事象を対したの事象を対したができる。【主体的に学習に取り組む活動規令でき習に取り組む活動とができる。】をするとができる。】をするとができる。まり組む活動規である。まり、おり、組む活動規である。とするとができる。を使いたの事なが、といては、といては、といては、といては、といては、といては、というな、というな、というな、というな、というな、というな、というな、というな	0	0	0	17
	定期考査			0	0		1

	 区 図形と計量 【知識及び技能】 図散と計量についての基本的なおり、 ② 急ととります。 ② ととります。 ③ ととります。 ③ ととります。 ③ ととります。 ○ ととります。 ○ はおり、 ○ はおり、 ○ はいるのでは、 ○ はいるのでは、<th>鋭角の三角比の値を用いて鈍角の 三角比の値を求める方法を理解すること。正弦定理や余弦定理について三角比の決定条件や三三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の構成要素間の関係を三角比で表現するととして。定様に、定理やなど、といると、といるとと、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、というでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが</th><th>【知識・技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理 競角の三角比の意味と相互関係について理 明する意義を理解し、意味と相互関係に有いで加速 する意義を理解し、を求める方法を理に利いて ことができる。正角定理や会弦定理と関大さ 三角比の値を求める方法を理に関連さる 三角比の決定条件や三のを 三角比の決定条件や三のる。 【思考・構成要表し、で、と、で、と、で、と、で、と、で、と、で、は、で、で、と、と、と、で、で、と、と、で、で、と、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、は、で、と、で、は、で、と、で、と</th><th>0</th><th>0</th><th>0</th><th>17</th>	鋭角の三角比の値を用いて鈍角の 三角比の値を求める方法を理解すること。正弦定理や余弦定理について三角比の決定条件や三三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の構成要素間の関係を三角比で表現するととして。定様に、定理やなど、といると、といるとと、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、というでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	【知識・技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理 競角の三角比の意味と相互関係について理 明する意義を理解し、意味と相互関係に有いで加速 する意義を理解し、を求める方法を理に利いて ことができる。正角定理や会弦定理と関大さ 三角比の値を求める方法を理に関連さる 三角比の決定条件や三のを 三角比の決定条件や三のる。 【思考・構成要表し、で、と、で、と、で、と、で、と、で、と、で、は、で、で、と、と、と、で、で、と、と、で、で、と、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、で、と、で、は、で、と、で、は、で、と、で、と	0	0	0	17
_	定期考査			0	0		1
2 学期	を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力を見居者力、判断力、表現力を問題に同たの表記でしたの要素などから散ら違いのというで変更ながある。 「となって、どに者を行った。は明確を担めて、というでは、は、というでは、は、は、というでは、は、というでは、は、というでは、は、というでは、は、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・指導事項 【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び理解 可感な意味を必要ない。 関係数とというなで、り、総計などの一分 をや標準は、というない。 をや標準などして、り、総計なとを をではどしたなな理理をからない。 をや標準などので、して、り、総計なを をではどしたなな理理を をできる。 とのでは、 とので、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とので。 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とので。 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とので、 とので、 とので、 とので、 とので、 とので、 とので、 とので	【知識・技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意コントで表示を理解するるとといったのでは、	0	0	0	17
	定期考査			0	0		1
							合計
							70

数学 数学A 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 科目

単位数: 2 単位 教 科: 数学 科 目:

対象学年組:第 1学年 1組~ 8組

数科扣当者·

使用教科書: (数学A 数研出版

の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察 する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう 【学びに向かう力、人間性等】 とする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の 基礎を養う。

数学A 科目

【知識及び技能】 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の 性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実 な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事 象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の 活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を 見いだし、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

)

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 集合、 場技能と確率について新学化の数とでは、 生産を関する。 を表している。 を表している。 は、 生産を関する。 を表している。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	的な関係や和の訳則、積の法則解係之の法則別、積のとて理解順列をとの表と上げ体の原なを理解していると合せの意味を理解しまり、表した。 一般の一般を表していると、 一般の一般を表して、 一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	集の	0	0	0	23
	定期考査			0	0		1
	B 命題 【知識及び技能】 ・	【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察 し、簡単な命題を証明すること。 ・教材 数科書 数学A(数研出版)	【知識・技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。 【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする 態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて択り 近ってきな変に、おりまする態度、粘り強な考え数学的解析に基づいて振り 返ってきった。 しまうとする態度や創造性の過ぎしたとができる。	0	0	0	10
2 学	定期考査			0	0		1

■ 国際の世質	期	C 数学と人間の活動 【知識 及び技能】	【知識及び技能】 数量や図形に関する概念などと 人間の活こと。数学にかいなどの関わりについて 理的なゲームやパズルなどを での理解を、当時ではあること。 【思考り形に関うを展立は一、数量や図形に関うを展立ない等】 数量や図形に関うを展立は手がいた基づいなどに数がらなどを 関心に基づいなどに数学でなまること。パンルなどに数学での数学を見いだし、目的と応じに応じ、 を見いだし、者解すること。 ・教材 科書数学1+A(数研出版) 4 STEP数学1+A(数研出版)	【知識・技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。数学学の関わりについて理解することやできる。などを通して次めるとができる。 (工要解を深める大規模を選挙を選挙を選挙を関心に基づいてをという。 (工事を限して数学を表します。 (工事を展表学的などを表します。 (工事を解析を表します。 (工事を解析を表します。 (工事を解析を表します。 (工事を解析を表します。) (工事を解析となどに対し、などに対し、などに対し、などに対し、などに対し、などに対し、などに対し、などに対し、などに対し、などに対し、などに対し、などに対し、など、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0	0	0	16
【知識及び技能】 「脱端及び大統則」 「脱端及び大統則」 「原籍・大田で、一部に一の議な会の分かった。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分する。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分する。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分する。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分する。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分する。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分する。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分する。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分である。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分である。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分である。 「原籍・大田で、一部に一の職分を内分である。 「記書・大田で、一部に一の職分を内分である。 「記書・大田で、一部に一の職分を内分である。 「記書・大田で、一部に一の職分を内分である。 「記書・大田で、一部に一の職分を内分である。 「記書・大田で、一部に一の職分を内分である。 「記書・大田で、一部に一の職分を内分である。」 「記書・大田で、一部に一の職分を内容を対して、一部に一の職分を内容を対して、一部に一の職分を内容を対して、一部に一の職分を内容を対して、一部に一の職分を内容を対して、一部に一の職分を内容を対して、一部に一の関係について、一部を入る。 「記書・大田で、一部に一の職分を内容を対して、一部に一の事金を対して、一部に一の事金を対して、一部に一の事金を対して、一部に一ついて、一ついて、一部に一ついて、一部に一ついて、一ついて、一ついて、一ついて、一ついて、一のに一ついて、一ついて、一ついて、一ついて、一ついて、一ついて、一ついて、一ついて、		定期考査			0	0		1
図形の性質について認識を深め、 事象を数学化したり、数学的に解釈 で理解すること。円に関する したり、数学的に表現・処理したり 基本的な性質についてりかいする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着自し、図形の情度などに、治理的に考察する力かを養う。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着間の関係や既に学習した図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質を見いだし、論理的に考察したり説で、表験する力かを養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しよ あったな性質を見いだし、その性質が高さと。コンピュータな 習したり歌音ととのでは質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質を見いだし、よの性質を見いだし、よの性質が高さとから、書面にあり、表述して、図形の新たな性質を見いだし、よの性質が高さとを認識し数学を活用しよりとすること。コンピュータな 当後機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質で作図にについて論理的に考察したり説明したりすることができる。ロンピュータな どの情報機器を用いて図形を表することができる。ロンピュータな 当後機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図にについて統合的・発展的に考察することができる。カンピュータな どの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図にについて統合的・発展的に考察することができる。ことがの対象機器を用いて図形を表すなどといて統合的・発展的に考察することができる。カンピュータ を表すなどして、図形の構成を表することができる。カンピュータ を表すとができる。カンピョータ はまず、表別の構造を表がのが、表別の性質でや作図にについて論理的に考察することができる。ことで特徴と表別の性質でもいて統合的・発展的に考察することができる。カンピットの対象を表する。 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「基本的な性質について理解すること。を間関形に対していて理解すること。の性質に着・、表現)を表現)を表現)を表現)を表現)を表現)を表現)を表現)を表現)を表現していて理解すること。 できる。 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現」を関係やでは質について理解すること。 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 「思考・判断・表現」を表現)を表現していて論が、表現していて論が、表現していて、表現していて、表現して、表現して、表現して、表現して、表現して、表現して、表現して、表現し	学	【知識及び技能】 図形な伝統についての基本的な状態と方程式についての基本的ななななどのにとない。 本語のないでは、主事象を数学のにしたにない。 大田	【知識を表す。 一型、 一型、 一型、 一型、 一型、 一型、 一型、 一型、	座標を外分する表方程 原外分する表方程 原外分する。 原外分する。 原外分する。 原本の信配を 下ことが表情と にことが表情と にことが表情と にことが表情と にことが表情と にことが表情と にでここな場合について表し、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	0	0	0	10
		及び技能】 図形の性質について認識を深めめ、 事もな数学化したり、数学処理したり、数学処理したり、数学処理したり、数学処理したり、数学処理すりする。 【思の構成要素を見いた力等】着則に、有力を表現係などに論理の構成要素質を見いだに論理を見いだに論理を表す。 【学びようとのに表現所の力力、散し、動学と考えとの心を膨胀が決め、正基が決の過程を改善されりした。 となりといい。 となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、となり、	【知識及び技能】 三角形に関する基本的な性質に ついて理解すると。 円に関する こと。空間図形解すること。等 との空間図形解すること。等 【思考力、判断力間の構成の性質について理解すること。等 【図形の構成要素性質にだった。 図形の性を見いだ考かと、のり遺の新たな性に対した。と、一般に対している。 関したするとが、 を材料書、数学A(数研出版) 4 STEP数学 I + A(数研出版)	三角形に関する基本的な性質について理解することができる。円に関する基本的な性質を基本的な性質を表現できる。円に関することができる。円に関することができる。とのでは関連を表現して、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きないで、大きないので、大きないで、大きないが、大きないかは、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないかないが、大きないかいは、大きないからないが、大きないが、かいかいが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、からないが、大きないが、からないが、ないが、ないが、からないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、	0	0	0	7
		定期考査			0	0		1

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科: 数学 科 目: 数学 Ⅱ 単位数: 1 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 8組

教科担当者:

使用教科書: (数学Ⅱ 数研出版

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

)

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよ 【学びに向かう力、人間性等】 うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標:

【知識及び技能】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数 関数、三角関数及び微分・積分の考えについて の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解解したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、知立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。考察したりもる力、関数関係に着目し、事象を次の確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	17 🗆	ж у п	の口 が・		
関数、三角関数及び微分・積分の考えについて の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解 釈したり、数学的に表現・処理したりする技能 を身に付けるようにする。 を身に付けるようにする。 を身に付けるようにする。 を身に付けるようにする。 に変したり、図形の性質を論理的に 考察したりする力、関数関係に着目し、事象を 的確に表現したその特徴を数学的に考察する 力、関数の局所的な変化に着目し、事象を 的確に表現してその特徴を数学的に考察する 力、関数の局所的な変化に着目し、事象を 的で、表際したり、問題解決の過程や結果を振り 返って統合的・発展的に考察したりする力を養		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	関数、三角の基本的なるとともに釈したり、	関数及び微分・積分の表 概念や原理・法則を体 、事象を数学化したり、 数学的に表現・処理した。	考えについて 系的に理解す 数学的に解	成り立つことなどについて論理的に考察する 力、座標平面上の図形について構成所 係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に 考察したりする力、関数関係に学問に表 多確に表現してその特徴を着的に、事すを 的で、関数の局所的な変化に表明との が、関数の局所的は が、問題解決の過程や結果を がしたりする力を が、問題解決の過程やする力を 変して、 の・発展的に考察したりする力を養	度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って 考察を深めたり、評価・改善したりしようとす る態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1							
2 学 期							
,,,							
	念や原理・法則を体系的に理解するとともに解す、事象を数学学にした表現ときもに解釈したり、数学学に付ける方に表現したする方にである。 「思考力、判断力、表現力等」、数の範囲やが成り立る力をでいるが、当時力ででは、でいたのででは、でいたで、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が	を理解し、それらを用いて式の成のの関係を理解し、それらを用いて式の成のの大きなの大きなであること。の方法にで計算をするした。 【式のの計算ととの との	【思考・判断・表現】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算 と関連付け多面的に考察することができる。 実数の性質や等式の性質、不等式の性質など を基に、等式や不等式が成り立つことを論理 的に考察し、証明することができる。日等式 や不等式が成り立つことを論理的に考察し、 証明することができる。 証明することができる。	0	0	0	9

3 学期	数学的論拠に基づいて判断しようと する態度、問題解決の過程を振り 返って考察を深めたり、評価・改善 しようとする態度や創造性の 基礎を養う。	し、複素数の解の相対算をすることで解と、複素数の解の相が有理解を対別及ことで表す。 大力程 関係について理解について理数をと。 因数方程式について因数をと。 国本ののでは、一般の表現のでは、一般の表現のでは、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現を表現が、一般の表現を表現が、一般の表現を表現を表現を表現を表現が、一般の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	【思考・判断・表現】 実数の性質や学式の性質などを基に、等式のできる。の性質などの性質などを基に、等式や不明することを論理の事象や社会の事象などを数学的に捉え名察し、記明することを論理のにときる。 (主体のに学習に取り立ちを表し、記明することができる。 (主体のに学習に取り数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数時的に対しようを認識し数学を活力にいる過度、粘りしようとする態度、粘りはっとする態度、粘りしようとなる態度や創造性の基礎を表りしようとができる。	0	0	0	9
	原理・法則を体系的に理解するとと もに、事象を数学化したり、数学的 に解釈したり、数学的に表現・処理	般角度の関大で拡大した。 を強力を関大した。 を強力を関大した。 を強力を関大した。 を変え、 ののである。 を変え、 ののである。 を変え、 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののでは、 ののでいる。 ののでいる。 ののでいると ののでと ののでと ををを も数のでと も数のでと をものでと をものでと をものでと をものでと をものでと をものでと ののと をものでと ののと のと ののと のと ののと のと ののと ののと	【思考・判断・表現】 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から式とともに、三角関数の加法定理から式とがラフの関係について多面的に考察することができる。二つの数量の関係に着目し、、問題を解決したり、解決の過程を数学的に捉え、下事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1
							合計 35

 高等学校
 令和7年度(2学年用) 教科
 数学
 科目
 数学工

 教 科: 数学
 科目:
 数学工
 単位数: 3 単位

 対象学年組:第2学年11組~8組

教科担当者:

使用教科書: (数学 II 数研出版 教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解 駅したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断カ、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよ 【学びに向かうカ、人間性等)うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造 性の基礎を奏う。

数学Ⅱ の目標: 科目

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		座標平面上の図形について構成要素間の関係に	
		着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的 確に表現したり、事象を数学的に考察したり、	皮、粘り強く考え数字的論拠に基ついて判断し ようとする態度、問題解決の過程を振り返って
		統合的・発展的に考察したりする力を養う。	考察を深めたり、評価・改善したりしようとす
			る態度や創造性の基礎を養う。
Į			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	「図形と方程式 「知識及び下経 知識及び下経理解し、簡単な場合 ・ 動態が下のいて理解し、簡単な場合 ・ しまった。 ・ にまった。 ・ とに、 ・ を生態を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を	措導事項 「知識及び挟建」 2つの円の位置関係、2つの円 の共有点、2つの円の交点を通う に思考力・相対力、表現力等] 座標平面上の図形について構成 程式を用いて表現し、図形の仕質 とができるようによるとし、といて考験者との関係ないとするようによるし、対学の関係などをの関係などを数学的に提 を果や社会の事象などを数学的に提 を果いて動脈を座標状に活用し、対策した。 を用いて動脈を座標状に活用し、方 を用いて動脈を座標状に活用し、方 を用いて動脈を座標状に活用が を用いて動脈を呼ばできる。 を用いて動脈を呼ばできる。 を用いて動脈を呼ばできる。 を用いて動脈を呼ばできる。 を用いて動脈を呼ばできる。 を用いて動脈を呼ばできる。 を用いて動脈を呼ばにある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてもある。 を用いてものものがある。 を用いてものがなる。 を用いてものがなるのがなる。 を用いてものがなる。	知識、技能」 について理解し、簡単な場合について軌跡を 求めることができる。 「思考・判断、表現」 歴様平面上の仮形について精液楽素同の関係 に著目し、そか方程式を用いて表現し、図 原様平面上の仮形について特別を表現し、図 形の性質や位便関係について考察することが できる。数量と図形との関係とだに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉 も、コンピュータなどの情報を展示して表現、 所列を関係している。 第6年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	0	0	0	20
1 学期	B 三角膜放射性の では、	・指導政反け技能服务 自身 を持ちない。 ・指導政反け技能服务 自身 で ・	【知識・技能】 「角の概念を一般角まで拡張する意義や温度と 角の概念を一般角まで拡張する意義や温度と 角の概念を一般角まで拡張する意義や温度 による角 一般間ができる。三角関数について理解する。 一般間が多く上の地域を埋みができる。 一般間が多く上の地域を埋みができる。 一般間数と 一般について必要が重要がまた。 一般間数について必要が重要がまた。 一般について多いでは、 一般について多いでは、 一般について多いでは、 一般について多いでは、 一般について多いでは、 一般について多いでは、 一般について多いでは、 一般について多いでは、 一般に一般である。 一般を導入さた性質を更多ができる。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般である。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般に一般である。 一般に一般に一般に一般に一般に一般に一般に一般に一般に一般に一般に一般に一般に一	0	0	0	22
	定期考査			0	0		1
	作教照象、対数開数・ 「相談展及では一般である。 ・ 一知機及では一般である。 ・ 一般である。 ・ 一般にある。 ・	・指導事項 「知識及び対策!」 知識及び対策! 「知識及び対策! 「相数を正の整数から有理数や放 指数を正の整数から有理数や放 非対る意義や正の整数に、持ちること。 持数関数ので理解すること。 一般の変化やグラッ対数の 理解に、動車が対数値の変化をクラッ対数の 理解に、動車が対数値の変化をクラッ対数の 理解に、動車が対数値の変化をつこと。 対数に可加・対域に可加・対域に対して、 「思考力対数に可加・支援・対域に対して、 「思考力対数に対して、 「思考力対数に対して、 「思考力対数に対して、 「思考力対数に対して、 「思考力対数に対して、 「との対域に対して、 「との対域に対して、 「との対域に対して、 「との対域に対して、 「との対域に対して、 「との対域に対して、 「との対域に対して、 「との対域に対して、 「との対域に対して、 「をを対域に対して、 「をを対域に対して、 「をを対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、 「を対域に対して、	知識・技能) ・ 特徴を関係ないら有理数へ拡張する意義を理解し、指数を出て必要ないら有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。指数関数ではないいて理解することができる。対数図数度を少しまった。とができる。とができる。とができる。とができる。とができる。との世界は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般できな、自然のは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	0	0	0	19
	定期考查			0	0		1

□ 微分・積分の考え 【加減及び技能】			関数 とができる。準開数を用いて限数の信の増減 く 機体・機体・電解・グラフの便形をかく方 く 後を理解することができる。不定解分及び定 積積分の意味について理解・関数の定数倍、 和及び差の不定額分や定額分の値を求めるこ [理考・判断・表理] 関数とでの解開数との関係について考察することができる。関数の局所的変化に着自し、 日常の事象や社会の事象などを数学的に提 と強、きる。 「問題を解決したり、解決の過程を振り 選づって事かの変が的な様々他の事象との関 に対して表されている。 第一般・考察することができる。 第一般・考察することができる。 第一般・音楽のとのに対している。 第一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一	【知識及び技能】 加識及び技能】 加識及び技能】 加識及び技能】 「知識及び技能】 「知識及び技能】 「知識及び技能】 「理解し、開致の定数倍、和及び薬の 環則数を求めること。液性表と 教を用して関数の値の端熱や極大・ 方方定積分別で表して、 大方法で独分といる。 「とかってもの。 「とかってもの。 「というないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	0	20
【知識及び技能】	定期考査			定期考査		1
	【知識及び技能】 類似所数や専用数の意味について 理解し、開数の定数係、和及び差の の専開数を求めることができる。 専開 動 ・ 一次 クラフの概形をかく方 方法と理解すること。 ・ ・ で 連称・ 極小を調べ、 グラフの概形をかく方 かた を理解することができる。 不定積が の定域に 和及び悪の が定域 ・ 和及び悪の 意味について 理解し、 例数の定数係 ・和及び を で を が で きん ・ 不定積が の定域 ・ 和及び を の で で を で を が で きん ・ 不定積が の定域 ・ 和、 で で きん ・ ・ で きん ・ ・ で きん ・ ・ 「 関数 シ と の 等限数 と の 等限数 と の の 関係 と へ の 専駆 を と の に の で を を か と ・ を を を か で きん ・ 同数 を と の きん ・ で きん ・ 「 で を を す を か と ・ を を か と ・ を を を す を か と ・ を を か と ・ を を を す を か と ・ を を か と ・ を を を す を か と ・ を を を を す を か と ・ を を を か と ・ で きん ・ を を か と ・ で きん ・ を を か と ・ で きん ・ を を か と ・ で きん ・ を を を す か と ・ で きん ・ で きん ・ と ・ で きん ・ を を を を す か と ・ で きん ・ を ・ を を を す か と ・ で きん ・ で きん ・ と ・ で きん ・ で きん ・ と ・ で きん ・ で きん ・ と ・ で きん ・ と ・ で きん ・ で きん ・ で きん ・ と ・ で きん ・ で きん ・ ・ を ・ を ・ で きん ・ と ・ で きん ・ と ・ で きん ・ で きん ・ で きん ・ と ・ で きん ・ で きん ・ で きん ・ と ・ で きん ・ と ・ で を を ・ で きん ・ ・ を ・ を ・ を ・ で きん ・ で きん ・ で きん ・ ・ を ・ を ・ を ・ ・ ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	学	数分係数や薄限数の意味について理解し、 関数の定統に、和及び医の薄限数を対象が 関数を対象が、和及び医の薄限数を対象が 、できる、薄限数を用いて関数の値の増減 、でを振りた。 海関数を用いて関数の値の増減 、でを振りた。 できる。不定能分及び定 物度ができる。 不定能分及が定 、	【知識及び技能】 加識及び技能】 加識及び技能】 加識及び技能】 理解に、開放の定数倍、和及び恋の 機解と、地で開放の値の機や極大・ 数を用いて開放の値の機や極大・ が方法を関かって関係した。 一人の表が進行のでは、一人の表が、一人の、一人の、一人の、一人の、一人の、一人の、一人の、一人の、一人の、一人の	0	

数学B 高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 数学 科目

教 科: 数学 単位数: 2 単位 科 目: 数学B

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 8 組

教科扣当者:

使用教科書: (数学B 数研出版

0

の目標:

【知 識 及 ぴ 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に 考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し 【学びに向かうカ、人間性等】 ようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や 創造性の基礎を養う。

科目

【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学 的に表現し考察する力、確率分布や標本分布 の性質に着目し、問題を解決したり、解決の 過程や結果を振り返って考察したりする力を 養う。 (知識及び技能] 数列、統計的な推測についての基本的な概念 や原理・法則を体系的に理解するとともに、 事象を数学化したり、数学的に表現・処理し たりする技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする 態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判 断しようとする態度、問題解決の過程を振り 返って考察を深めたり、評価・改善したりし ようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 教列 【知識を受けた等に対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	再帰的な関係に着目し、日常の事 象や社会の事象などを数学的に捉 え、数列の考えを問題解決に活用 すること。自然数の性質などを見 いだし、それらを数学的帰納法を	(本)	0	0	0	20
学期				0	0		1
	田 統計的な推測 【知識及び技考えについて理解を深率 めることがで投考えについて理解を確率であることができる。このできる。一項の一部を正規するこの情報を変勢とと性質からきる。このでは理解では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	【思考为、判断力、表現力等】 確率姿分布や標本分布の特徴を、差 などを用いて考察するること。 的に応じて標本調査を設計し、収 集したデータを基にコンピュータ などの情報機器を用いて処理力る などして、母集報を用いて処理力を などして、母集制を制向を制 推測し判断するとともに、標本間	【知識・技能 標本調査の考えについて理解を深める三と 標本調査の考えについて理解を深める三解 ができる。確率変数と確率分布について理角布 を深めることができる。二項うること検定仮 の性質災力をできる。とができる。とができる。とがか定仮 の大法を理解することができる。 【思考・分散・表現 の方法を理解することができる。 【思考・分散・表現 の方法を理解することができる。 【思考・分散で、確率等数を のの方法や無解すを表していてがでしている。 「といて処理とした。 一年のでは、収集とを は回の特徴機や傾向の方法や結果を批判的に考 は、収集とを に、根本調査をななとしてと考 は、収集したが は、収集したが は、収集したが ににいて処理 とどしてと考 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	0	0	0	20
	定期考査			0	0		1

・一人 1 台端末の活用 等論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	27
	1 合計

高等学校 令和7年度(2学年用)教科 数学 科目 数学C

教 科: 数学 科 目: 数学C 単位数: 1 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 8 組

教科担当者:

使用教科書: (数学C 数研出版

)

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察 する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう 【学びに向かう力、人間性等】 とする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の 基礎を養う。

科目 数学C の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工夫について認識を深め、事象を数学的に表	その図形的な意味を考察する力、数学的な表現 を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 を養う。	度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し

お事は上のペタトル	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
「知識及び技能】 空間のベクトルの意味、相等、 和、差、実数倍、位置ベクトル、 クトルの成分表示について理解する ことができる。ベクトルの内積及びそ その基本的な性質について理解する ことができる。メクトルの内積及びそ その基本的な性質について理解する ことができる。とを理解することができる。 「思考力、判断力、表現力等】 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算が注則を考察する ことができる。ベクトルの内積及びそ 平面から空間に拡張できることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算が注則を考察することができる。 「思考力、判断方、表現力等】 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算が注則を考察することができる。 「思考力、判断力、表現力等】 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算が注明できることができる。 「思考力、判断力、表現力等】 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算が注明できることができる。 「思考力、判断力、表現力等】 を数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算が記し、表現の表しいがしたり、多面的に考査することができる。 「思考・判断・表現」 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。ベクトルの演算法則を考察することができる。 「思考・判断・表現」 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 「思考・判断・表現」 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 「思考・判断・表現」 実数などの演算の法則を関連でも、メクトルの演算法則を考察することができる。 「思考・判断・表現」 実数などの演算の法則を関連できることができる。 「思考・判断・表現」 「思考などの演算を引きることができる。 「思考・判断・表現」 「思考・判断・表現」 「思考・判断・表現」 「思考・判断・表現」 「思考などの演算を引きることができる。 「思考を深めているが思考を深めているが思考を深めているが思考を深めて、関解で、表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	知知能及び技能	【知識及び技能】 平面上のベクトルの意味、相等、、、のベクトルの意味、相等、、実数のできるないでは、でからないできるないな性質がに加りいて理解するとのよとのよとのないできる方とをできる方とを関連を表し、と、と、は、のでは関の形では関節を対したが、できる方とのないでは、と、は、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実実 整倍、イントルの意味、相等、和、分テルの成り、 ができる。とを理解することを関連を関連した。 「思考文学のまり、一次のできる。常の人のできる。 「となどのまり、おいてきるというというというというというとも、 の形及の事像などを関解学にには、まると学の内積の考えとを問題解決に活用体的によるに受いているといるというというというと、 をというというというというというというというというとする態度、別様にの基礎を表したりというと、 を表し、またい、表し、というというというと、またい、またい、またい、またい、またい、またい、またい、またい、またい、またい	0	0	0	17
正期考査 ○ ○ 1	【知識及び技能】 の意味、作りでは、	【知識及び技能】空間のベクトルの意味、相等、和、差、外格に、心ででは、大力と、大力と、大力とと、一方と、大力とと、一方と、大力とと、一方と、大力とと、一方と、大力とと、一方と、大力とと、一方と、大力とと、一方と、大力とと、大力とと、大力とと、大力とと、大力とと、大力とと、大力をでは、大力を、大力を、大力を、大力を、大力を、大力を、大力を、大力を、大力を、大力を	空間のベクトルの意味、相等、和、差、実 数倍、加水のでは、カトルの成分といって理解することができる。ベク解することを理解することを記述して、ベックトルやその内積の書きなどをだしまった。関連を対して、カトルのできないできる。常の人というというというというというというというというというというとする態度、関題解決の過程を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	0	0	0	17
	定期考査			0	0		1

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅲ

 教 科: 数学
 科 目:
 数学皿
 単位数: 5 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 8 組

教科担当者:

使用教科書: (数学皿 数研出版)

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 極限,微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに,事象を数学化したり,数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

数列や関数の値に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深くとらえて事象を数学的に表現し 【思考力、判断力、表現力等】 考察する力、いろいろな関数の性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り 返って総合的・発展的に考察したりする力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の家庭を振り返って考察を深めたり、評価・ 改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標:

科目	数字 皿	の日標:						
	【知識及び技能]	【思考力、判	断力、表現力	等】	【学びに向	かう力、人間性	等】
限を求級級数では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	限についてできた。 ことは、できないできた。 ことないできた。 ののできたが、できたが、できたができた。 のの相数とををはいるというできた。 ののでは、できないできない。 できないできない。 では、できないでは、 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできないできない。 できないできないできない。 できないできないできない。 できないできないできない。 できないできないできない。 できないできないできない。 できないできないできないできない。 できないできないできないできない。 できないできないできないできない。 できないできないできないできない。 できないできないできないできない。 できないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	て理解し、簡単 できる。 の値の変化やグラーができる。 と解し、簡単な場ができる。	①式したをからない。 では、 とのでは、 では、 を多りをある。 したのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 は、 で	求 性のる方法 質 り し り う 。 に り う 、 着 ど り の 。 に り る 、 に り る 、 に り る 、 に り る 、 に り る 、 に り る 、 に り る 、 の も り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	を考 は まま ま	態度、粘り強く考えしようとする態度、大きな変を深めたり、する態度や創造性の	数学的論拠に 問題解決の過程 評価・改善し	基づいて判断 涅を振り返っ たりしようと

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 極限 ・のやに ・のやに ・のやに ・のやに ・のやに ・のやに ・のやに ・のやに を変逆の切り、 を変逆の状態、 を変逆の状態、 を変逆の状態、 を変逆の状態、 を変逆の状態、 を変逆の状態、 を変変が表すがので表す。 にをきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 をきります。 で着コいを返っで力。 はしる数数を、 またりす数数を、 またりす数数を、 またりす数数を、 で着コいを必ので力。 とい解できるしっしる。 しる数数をである。 しる数数をである。 しる数数をである。 しる数数をである。 といををきしました。 をも関連を、 をもしました。 をも関連を、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいで、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなを、 をもいのなが、 をもいのなが、 をもいとした。 をもいのなと、 をもいのなが、 をもいのなが、 をもいのなが、 をもいのなが、 をもいのなが、 をもいのなが、 をもいのなが、 をもいとした。 をもいとした。 をも、 をも、 をも、 とこととと。 と、 をも、 をも、 をも、 をも、 とことを、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 とことを、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 とこととと。 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、	・指導事項 【知数人の数の収を使い、 ・のやに 、	【知識・技能】数列の極限というでは、	0	0	0	30

1 学期	B【 ()	・指知微力では、 ・指知微力では、 ・指知微分では、 ・指知微分では、 ・関数をというでは、 ・指知微分では、 ・関数をというでは、 ・指知微分では、 ・では	【知識・技能】 微理解と 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位	0	0	0	29
	定期考査			0	0		1
学	C 【 電話 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	・指導政策とは、 ・指導政策を ・指導政策を ・指導政策を ・指導政策を ・指導政策を ・指導政策を ・大きながある。 ・大きなが多のでで ・大きなが多いでで ・大きなが多いでで ・大きなが多いでで ・大きなが多いでで ・大きなが多いでで ・大きなが多いでで ・大きなが多いでで ・大きなが多いでで ・大きなが多いで ・大きなが多いで ・大きなが多いで ・大きなが多いで ・大きなが多いで ・大きなが多いで ・大きなが ・大き	【知識・技能】 では、	0	0	0	69
	仁別与且			0	0		1

定期考査 0 0 1 合計		たり、解決の過程を振り返事なられて事象の数学的な特徴を他の事象のとの関係を考察からことが、間性等】数学のようと、が、間性を活用えどいいにささ態度、おり強いによう的論した。とするをは、世界のようをは、世界のようをは、世界のもできる。というというというというというというというというというというというというというと	・指導職及機分法、不定積分及び定理問題を機分分法、不定積分及での試置を関係のでは、不定積分とでで理問題を表現力にいて、では、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	【知職・技能】	0	0	0	44
(4)		疋期考 査			0	0		1
175	_							合計

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学C

教 科: 数学 科 目: 数学C 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 8 組

教科担当者:

使用教科書: (数学C 数研出版)

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考 察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよ 【学びに向かう力、人間性等】 うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造 性の基礎を養う。

科目 数学C の目標:

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
相に引	既念や原理・法則を体系的に理解するととも	大きさと向きを持った量に着目し、演算法則や その図形的な意味を考察する力、数学的な表現 を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 を養う。	度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
面と複素数の極形式、複素数の実的を発展、和、差、大優素を関係、和、差、積及び商の理形的な意味、ド・モアンが、表現力がの表しまで、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	・指導取び技能】 権数 を	【知識・技能】 (物理学の) (地域の) (0	0	0	12
【知識及び技能】 放物線、楕円、双曲線が二次式 で表されること及びそれらの二次 曲線の基本的な性質について理解 することができる。曲線の媒介変 数表示について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 放物線、楕円、双曲線を相互に 関連付けて捉え、考察することが できる。	・指導事項 【知識及び技能】	【知識・技能】 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されるため及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解することができる。曲線の基本の媒介変数表示について理解することができる。【【主き・判断・表現】 放物線、楕円、又がができる。【上主体的に学習に取り組む態度】 対策度、計りでは、大きのようという。 【主体的に対し、大きのようとが、一般に対し、大きのようとが、一般に対し、大きのようとが、一般に対し、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは	0	0	0	11
定期考査			0	0		1

2 学期		各自入試問題を解くとともに、そ の解説を行う。	知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度について総合的に評価を行う。	0	0	0	27
	定期考査			0	0		1
3 学期		各自入試問題を解くとともに、そ の解説を行う。	知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度について総合的に評価を行う。	0	0	0	17
	定期考査			0	0		1

合計 70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学演習 β

教 科: 数学 科 目: 数学演習 β 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 8 組

教科担当者:

使用教科書: (数学 II (I・A・B・C) 数研出版

教科 0 の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよ 【学びに向かう力、人間性等】うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造 性の基礎を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

科目 数学演習 β

定期考查

の目標:

	【知識及び技能】			i力、表現力等】	【学びに向か				
てり	習の数学I、II、A、B、C(ベクトル) 基本的な知識を整理し、事象を数学 、数学的に表現・処理し、数学を応 能を身に付ける。	化した	変化の規則性や性質に に表現し考察する力を により身につけ、 事象 関係を認識し、統合的 を養う。	寅習を積み重ねること はの本質や他の事象との	演習を積み重ねる中 く考える態度を養い る。また、演習を行 を振り返り、考察深 を養う。	、数学った問	の良さ 題の、	を実感 解決の	させ 過程
	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規	準	知	思	態	配当 時数
	A 数と式・命題と証明 2次形数計量 データの分析 【知識の主というが能】 「知識のを数学化し、事なのを数学化し、事なが表し、事なが表し、事ながある。 【思考」を指し、表現力等】 既習多がある。 【思考基をある。 【思考基をある。 【学びに向けの題をとした。 「学習を深める態度を美う。	・教材 ニュー: ・一人1 予習に	頁 頁の演習 ステージ 台端東なが活用 歴史な参考問題の提示 芯用問題の提示	【知識・技能】 既容を整理し、基等 既習を整理し、基等 数学を活用し、处現別 は、地球のでは、一般では、 は、 は、では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	る。 統合的に考察し、幅 ができる。 む態度】 取り組み、解法等を 液 粘り強く考察し、	0	0	0	12
1 学期	確率	・教材 ニュー: ・一人 1 i 予習に	頁 頁の演習 ステージ 台端末の活用 ど要な参考問題の提示 芯用問題の提示	【知識・技能】 既習事項を整理し、基 数学を活用し、处表明 演習者を通過し、表 資習者察・表分野でと 【主体的に学習れ下取問 受られた問題に 発表するこの題に 発表する。 問題し 発表する。 間差を終え 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述	る。 統合的に考察し、幅 ができる。 む態度】 取り組み、解法等を 粘り強く考察し、演	0	0	0	11
	定期考査					0	0		1
2 学	C 三角指数対数関数 微分積分 教列 統計的な推測 ベクトル 「知識及び技能】 既習の象を数学化し、応用する 電を実施、判断項を整力を等し、 医器等力、事とを扱う。 【思考基本事項の整理 は、下のでは、一、で、ので、ので、ので、ので、で、ので、で、ので、で、ので、で、ので、	・教材 ニュー: ・一人 1 [†] 予習に	夏 夏の演習 ステージ 台端末の活用 必要な参考問題の提示 芯用問題の提示	【知識・技能】 既習を指見し、基等 数学を整理し、基等 数学を活用し、表現】 は選者察・表現するよう。 【主体的に学れた財態によっての を当れた対し、 、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	る。 統合的に考察し、幅 ができる。 む態度】 取り組み、解法等を 海 粘り強く考察し、	0	0	0	12
期	定期考査					0	0		1
	C 数学による問題解決の基礎 【知識及び技能】 復習して事象を数学化し、数学を もとに、事象を数学化し、数学を 活用する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を統合的に判断し、問題の 本質に着目し、多面的な表現力を 養う。 【学びに向かう力、人間性等】 演習した問題を振り返り、考察 や学習を深める態度を養う。	・教材 ニュー: ・一人1 予習に	質 質の演習 ステージ 台端末の活用 ど要な参考問題の提示 芯用問題の提示	【知識・技能】 既習を整理し、基 教学を活用し、処理理 、基 、基 、基 、基 、基 、基 、基 、基 、基 、基 、基 、基 、基	る。 統合的に考察し、幅 ができる。 む態度】 取り組み、解法等を 海 粘り強く考察し、	0	0	0	14

D 数学の総合的活用 【知識及び技能】 文系で必要な数学の知識をもと に、事象や数学の問題を総合的に 処理する力を養う。 【思考力、制断力、表現力等】 各単元を統合的に列助が表現力等 の本質に着目し、多面的な表現力を 養う。 【学びに向かう力、人間性等】 演習した問題を振度を養う。 3	 ・指導事項 基本事項の演習 ・教材 ニューステージ ・一人1台端末の活用 予習に必要な参考問題の提示 解答、応用問題の提示 	【知識・技能】 既習事項を整理し、基本的な問題に対して 数学を活用し、処理できる。 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を統合的に考察し、幅 広く考察・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 割り当てられた問題に取り組み、解法等を 発表する。問題に対して粘り強く考察し、取り 発表する。問題に対して粘り強く考察し、取り 組む。	0	0	0	18
期						合計 70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学演習 γ 数学 科 目: 数学演習 γ 単位数: 4 単位

 教 科: 数学
 科 目:

 対象学年組:第 3 学年
 組~
 組

 教 科: 数学

教科担当者:

使用教科書: (数学(I·A·II・B) 数研出版

の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考カ、判断カ、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察するカ、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考 察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよ 【学びに向かうカ、人間性等】 うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造 性の基礎を養う。

科目 数学演習 γ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
で基本的な知識を整理し、事象を数学化した り、数学的に表現・処理し、数学を応用させる	により身につけ、 事象の本質や他の事象との	く考える態度を養い、数学の良さを実感させ
	を養う。	を養う。

ш		を養う。					
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 関数と方程式・不等式式を放配性質場合の数に関するの数に関するの数に変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変	 ・指導事項 基本事項の演習 ・教材 オリジナルプリント教材 (CHEK問題:前半) ・一人1台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等 	【知識・技能】 既習事項を整理し、基本的な問題に対して 数学を活用し、処理できる。 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を統合的に考察し、幅 広く考察・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終え た問題を振り返ることにより、問題解決する ため、考察を深めようとしている。	0	0	0	20
1 学期		・指導事項 基本事項の演習 ・教材 オリジナルブリント教材 (CHEK問題:後半) ・一人1台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等	知識・技能】 既習事項を整理し、基本的な問題に対して 数学を活用し、処理できる。 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を統合的に考察し、幅 広く考察・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終え た問題を振り返ることにより、問題解決する ため、考察を深めようとしている。	0	0	0	27
	定期考査			0	0		1
	C 数学による問題解決の基礎 【知識及び技能】 1 学期に整理した基本事項の知識をもとに、事象を数学化し、数学を活用する力を養う。 【思考カ、制断力、表現力等】 各単元を統合的に判断し、問題の本質に着目し、多面的な表現力を 養う。 (学びに向かう力、人間性等】 演習した問題を疲り。 等容に表める態度を養う。	・指導事項 基本事項の演習 ・教材 オリジナルプリント教材 (標準演習) ・一人1台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等	【知識・技能】 既習事項を整理し、少し高度な問題に対して数学を活用し、処理できる。 【思考・判断・表現】 富習を通し、各分野を統合的に考察し、多面的に表現し、相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終えた問題を振り返ることにより、問題解決するため、考察を深めようとしている。	0	0	0	26
2 学	定期考 查			0	0		1
期	D 数学による問題解決の応用 【知識及び技能】 文系で必要な数学の知識をもと に、より高度な事象を数学化し、 数学を活用する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を統合的に判断し、問題の 本質に着目し、多面的な表現力を 養う。 【学びに向かう力、人間性等】 演習した問題を振り返り、考察 や学習を深める態度を養う。	・指導事項 基本事項の演習 ・教材 オリジナルプリント教材 (応用演習) ・一人1台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等	【知識・技能】 既習事項を整理し、より高度な問題に対して数字を活用し、処理できる。 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を統合的に考察し、多面的に表現し、相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終えた問題を振り返ることにより、問題解決するため、考察を深めようとしている。	0	0	0	28

3 学期	D 数学の総合的活用 【知識及び技能】 文系で必要な数学の知識をもと に、事事ので数学の問題を総合的に 処理する力を養う。 【思考力を新合的に判断し、問題の 本質に着目し、多面的な表現力を 養う。 【学びに向かう力、人間性等】 演習した問題を振り返り、考察 や学習を深める態度を養う。	 ・指導事項 基本事項の演習 個別指導 ・教材 オリジナルプリント教材 (総合演習) ・一人1台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等 	【知識・技能】 既習事項を整理し、より高度な問題に対して数学を活用し、処理できる。 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を統合的に考察し、多面的に表現し、相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終えた問題を振り返ることにより、問題解決するため、考察を深めようとしている。	0	0	0	36
							合計 140

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学演習δ

教 科: 数学 科 目: 数学演習δ 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3学年 1組~ 8組

教科担当者:

使用教科書:数学 I A II B C (数研出版) 教科 数学演習 δ の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に 解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に 考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し 【学びに向かうカ、人間性等】 ようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や

創造性の基礎を養う。

科目 数学演習δ

演習δ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
既習の数学 I A II B C (ベクトル) について基本的な知識を整理し、事象を数学化したり、数学的に表現・処理し、数学を応用させる技能を身に付ける。	現し考察する力を演習を積み重ねることにより身につけ、 事象の本質や他の事象との関係を認識し、	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	問題演習を通して、基礎基本事項を確認する。国公立2次試験レベルの 入試問題へ対応できる学力の確立を 目指す。 【知識及び技能】 既習の知識の基本事項の整理し、	基本問題演習40 1 関数と方程式・不等式 2 整数の性質、場合の数、確率 3 図形と方程式、場合の数、確率 4 三角・指数・対数関数 5 微分法・積分法 6 ベクトル 7 数列 ・オリジナルプリント教材 (基本演習問題40) ・一人1台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等 定期考査	【知識・技能】 定義定理等を正しく理解し、基本的な問題に 対して正確に処理できる。 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を横断的に考察し、幅広 く考察、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終えた 問題を振り返ることにより、問題解決するた め、考察を深めようとしている。	0	0	0	23
F	2期 数学による問題解決の基礎	テーマ別演習前半7回	【知識・技能】				
2	演習し、実践力を養う。 【知識及び技能】 1 学期に整理した基本事項の知識 をもとに、事象を数学化し、数学を 活用する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を統合的に判断し、問題の本 質に着目し、多面的な表現力を養 う。 【学びに向かう力、人間性等】 演習した問題を振りな	01 場合の数と確率① 02 整数問題① 03 関数 04 方程式・不等式 05 図形問題① 06 図形問題② 07 数列① ・オリジナルプリント教材 (テーマ別演習 7回) ・一人 1 台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等	既習事項の細かな知識を整理し、標準的な難易度の問題に対する解決方法を 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を総合的に考察し、多面的に表現し、相手に伝えることができる。 記述解答力、正確に処理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終えた問題を振り返ることにより、問題解決するため、考察を深めようとしている。	0	0	0	13
学		定期考査		0	0		1
斯	3期 数字による問題解決の応用 国公立大学理系の記述問題を多数 演習し、実践力を養う。 【知識及び技能】学の知識をもと に、より高度な事象を数学化し、数 学を活用する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を統合的に判断し、問題の本 質に着目し、多面的な表現力を養 う。 【学びに向かう力、人間性等】	テーマ別演習後半5回 08 場合の数と確率② 09 場合の数と確率③ 10 整数問題② 11 図形問題③ 12 数列② ・教材 オリジナルプリント教材 (テーマ演習5回) ・一人1台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等	【知識・技能】 全分野の総合的に整理し、難易度の高い問題に対して数学を活用し、処理できる。 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を統合的に考察し、多面的に表現し、相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終えた問題を振り返ることにより、問題解決するため、考察を深めようとしている。	0	0	0	13
		定期考査		0	0		1
3 学期	習に取り組み、入試への最終調整をする。 【知識及び技能】 理系で必要な数学の知識をもとに、事象や数学の問題を総合的に処理する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を統合的に判断し、問題の本	共通テスト演習 入試問題実践演習 ・指導事項 基本事項の演習 個別指導 ・教材 オリジナルプリント教材 (テーマ演習) ・一人1台端末の活用 問題の配信、振り返りシートの TEAMS課題機能による提出等	【知識・技能】 既習事項を整理し、実践問題に対して数学を活用し、処理できる。 【思考・判断・表現】 演習を通し、各分野を統合的に考察し、多面的に表現し、相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題に対して粘り強く考察し、演習を終えた問題を振り返ることにより、問題解決するため、考察を深めようとしている。	0	0	0	18
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和	7年度(1学年用)	教科	科目
教 科: 0 科	目: 0	単位数:	単位
対象学年組:第 1 学年 組~	組		
教科担当者: (組:) (組:) (組:)(組:)(組:)(組:)
使用教科書: ()
教科 0	の目標:		
【知 識 及 び 技 能】			
【思考力、判断力、表現力等】			
【学びに向かう力、人間性等】			
科目 0	の目標:		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	8
1	定期考査			0	0		1
学期	C 単元 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項・教材・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項・教材・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	7
	定期考査			0	0		1
2 学期							
3 学期							合計 30